森の子コレンジャー通信

Morinoko CORANGER あきる野

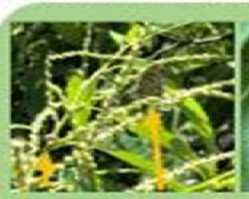
2021年 プレ(^^)♪始動式 号
発行：森林レンジャーあきる野

「こんにちは！ 森林レンジャーのパブロとかせちゃんです」

かせ「6月、みんなに会えることをとっても楽しみにしていたよね@みんなも活動ができずにさみしいかもしれない～パブロ、みんなと行きたかったビオトープやきせつの自然をしょうかいしようかな？！」

パブロ「それ、いいね～！6月は色々な生き物がかっぱつになるじきだ！！！自然はまってくれないから、かせちゃん！さっそく行ってみよう！」

クリの花



6月の花といえば"くさ～いにおいのクリの花"！くさいけど、虫には大人気なのです！晴れていた今日は、ハナムグリやチョウ、カミキリムシ、ハチなどの昆虫が花のみつをすいに集まっていて、じっくりかんさつすることができたよ♪

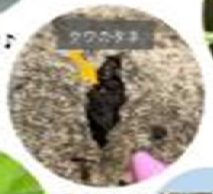
オオルリのオス

暗い森の中を静かに歩いていると、クロツグミやキビタキ、そしてオオルリのなき声が聞こえてきました。私たちの近くでないているオオルリのオスをかんさつしていると、ヒヨドリがオオルリのじゃまをしにきました。なわばりを守るためなのか、ひっしにオオルリをおいだそうとしていました。体の大きいヒヨドリにおわれながらも、オオルリもひっしになき続けていました。

森の中を静かに歩くと、色々な生きものの色々な場面に出会うことができますね。

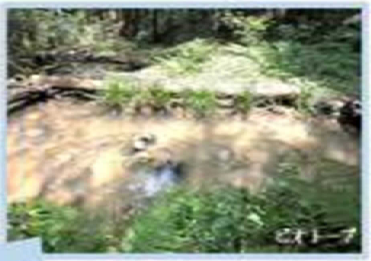
注意！！ 自然には、私たちにとってきけんな動植物も生きているよ

モミジイチゴの実♪

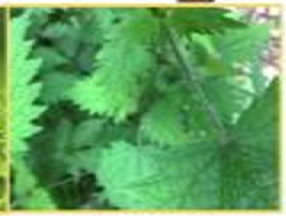


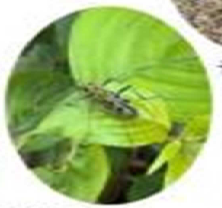
テンのフン

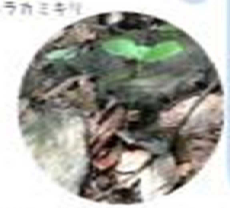
アサヒナカワトンボ



葉のうらにハチが巣を作っていた！

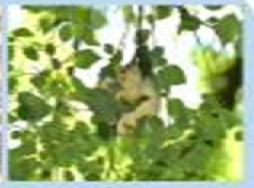

イラクサのトゲ


キイロトラカミキリ


どんぐり（コナラ）の赤ちゃん♪

昨年生まれのヤマアカガエル♪

アズマヒキガエルのオタマジャクシ


モリアオガエルの卵

「池で卵を産むカエルやトンボのために、森の中の池をふっかつさせよう！」と、2013年からコレンジャーと整備（せいび）してきたビオトープ。ビオトープとは、生きものが暮らすことができる環境のこと。今では、カエルやトンボの他にも色々な生きものがビオトープを利用しています。

今日は、3～4月生まれのヤマアカガエルとアズマヒキガエルのオタマジャクシの成長を確認しました。そして、木の上にモコモコのアワを発見！これは、モリアオガエルの卵のかたまりで泡巣（あわす）というよ。卵からかえったオタマジャクシは、アワを食べて少し大きくなると、とけたアワといっしょに下の池に落ちます。そして、池の中でカエルになるまで成長していくんだよ(^^)

かせ「しょうかいした自然いがいにも、きせつの自然はたくさんあるよね！」

パブロ「どんな時も自然はめぐってくる…最高！来月はべつの場所で、珍らしい生きものをかんさつしよう」

かせ「そうだね！名ふだ作りもあるよ♪」

「7月こそ活動できますように！晴れますように！！会えることを楽しみにしてるよ！！！」

森の子コレンジャー通信

2021．11月、12月号
発行：森林レンジャーあきる野

第１１期 森の子コレンジャー始動！

１１月いよいよ始動です！学校はバラバラだけど自然が大好きという共通の想いを持った仲間１０名（２名欠席）が集まりました♪「市の自然を学ぶ」「野外で安全に活動することを学ぶ」ことを目標に、パブロとかせちゃんと仲間と一緒に自然に学ぶ活動をしていこうね♪

始動式のようす

帽子と野帳の贈呈

始動式は、コレンジャーの証である帽子、野帳を贈呈した後「皆さんをコレンジャーとして認定します。仲間と絆を結び、あきる野の自然とふれあい、学ぶことを目標に１年間楽しく活動しましょう。そして素晴らしい自然を発見し、学び合い、共に守っていこう」とレンジャーから話をしました。その後、リーダーのめぐびんからコレンジャーの心得を後輩に伝えてもらいました。

心得を発表

始動式の後は、これから野外活動をする上で大切な装備である「スパッツ（ゲーター）」の説明と付け方を確認しました。使った後は水で洗って干すなどの整備を自分で行うことを約束しました。
準備ができたら、いよいよ五日市周辺の田んぼに出発です！
「稲刈りが終わってはざ掛けしているね～」都内ではあまり見られなくなった風景の中、生き物を見つけながら進んでいきました。すると、パブロから「バッタなどが少なくなった１１月。あるものをみんなで探そう！」と提案が。さてさて、あるものとはなんでしょうか～？？？

次のページへ続く→

「モズのはやにえを探そう！」はやにえを知っている子も知らなかった子も興味津々で説明に耳を傾けます。

「はやにえ」とは、モズという鳥類の貯食行為の一つです。この独特な行為は、秋が深まるにつれて獲物をあちらこちらのトゲや小枝に刺します。そして、それらを冬の間に消費します。
バッタの他にもカナヘビやカエル、カヤネズミなどが対象となり、林や河原で確認することができるのです！
さあ、みんなで探してみよう～♪

こうへいのお父さんが12月にモズのはやにえを見せてくれたね！

みんなで田んぼや林の周りを探し歩きましたが、モズのはやにえを見つけることはできませんでした…（ ；∀；）後ろ髪を引かれつつも田んぼを出発し、見晴らしの良い所でお昼を食べました。お昼を食べた後は自分のお札作り♪それぞれ味のあるお札が完成✧した後は、自己紹介をしました(･∀･)

確認した生き物リスト紹介（パブロ）

あと少しで冬らしくなる時期でしたが、まだまだバッタやキョウなどの昆虫に出会えました。鳥類は、なかなか姿を見せてくれない種類が目立ちました。しかし、姿は見えなくてもカワセミや冬季渡来中のリュウキュウサンショウクイの鳴き声を耳にしましたね。
みんなでじっくり観察できたのは、餌探し中のエナガの群れやモズ（モズのはやにえは発見できませんでしたが…）。秋晴れの里山散策となりました(^0^)

哺乳類：ニホンテン（糞跡）、イノシシ（糞跡）
鳥類：トビ、カルガモ、ハクセキレイ、カワセミ（鳴き声）、ダイサギ、モズ、ヒヨドリ、ルリビタキ（鳴き声）、シジュウカラ、リュウキュウサンショウクイ（鳴き声）、メジロ（糞跡&鳴き声）、エナガ、スズメ
魚類：アブラハヤ
昆虫：ヨツマダラカネ、ナツアカネ✧、ツマグロヒョウモン、キタキハ、ウラナミシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、ベスジスズメ（幼虫）、ナシケンモン（幼虫）、クルマバッタ、ツチイナゴ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、オンブバッタ、アシグロツユムシ、ツユムシ、クビキリギス、クサヒバリ（鳴き声）、ホカメコオロギ（の仲間）、カネタタキ（鳴き声）
（✧現地で伝えたかったがアカネは間違いで、ナツアカネでした）

１２月はビオトープ整備活動！

１１期９回目の活動は「ビオトープ整備」です。ビオトープとは、地域の野生生物が生息する空間のコト。コレンジャー活動では、絶滅種や絶滅種の産卵する水場が減少しているコトをうけて、むかし谷津田だった所を池として再生し、多様な野生動物が利用する植物の種類を増やすために周辺の林床を一部整備してきました。

１１期では、１段目（小白鳥池）の掘り直しと、沢の流れや道の整備を行いました。昨年は感染防止のため整備活動を中止していたので、コレンジャーでは２年ぶりとなります！

１１月には、コレンジャー同窓会で先輩が池などの整備を行っただけではなく、１１期のみんなのために難しい作業の準備もしてくれていましたね。

森に行く前、みんなにビオトープと使う道具の説明をしました。準備ができたら、道具を分担して担いで森を歩きました。２回目の活動で整備を行うのは初めてだったのでパプロとかせちゃんは少し心配していました。が！みんなは安全に道具を担いで森を歩くことも学び、交替しながら無事にビオトープに到着することができました。さあ、整備開始です！！！

これまでにないほど「池を掘りたい！」という子が多かったのでびっくりしました。作業中、足はねに巻き込まれる子や、池の底から現れた３匹のカエルが出るハプニングもありましたが（＞ｖ＜！）コレンジャーのみなさん大変お疲れ様でした！きっと自然が生きる活動になったと思います。

また機会を作って、みんなで万沢ビオトープに集まる生き物を見学しましょうね♪

１１月集合写真

１２月集合写真

森の子コレンジャー通信

２０２２．１月、２月号
発行：森林レンジャーあきる野

１月は冬の秋川下流部の自然調査！

今年最初の活動は、「秋川」の冬の自然調査です♪秋川渓谷として有名な秋川。今回は、上流部の深い渓ではなく下流部を歩きます♪！月の暖かい日、河川敷にはグラウンドで野球をする人や散歩をする人(^^)、ラジコン飛行機を飛ばす人(^^♪)…など人が沢山いました。そんな中で、どのような自然に出あえるのでしょうか？！出発前に、今日の相棒「双眼鏡」の使い方をみんなで学びます！

みんな最初は悪戦苦闘していましたが、コツをつかむとピントを調整して見たい物が見える様になりました。双眼鏡は、野鳥に影響を与えずに、じっくり観察できる大切な道具だということもわりました。たくさんの野鳥を観察しながらたーくさん歩きましたね（笑）。あしく広がる河原や畑の環境、そして、そこに集まる野鳥…冬の下流部は自然も豊かでした！

第１１期森の子コレンジャー、全員集合！！！

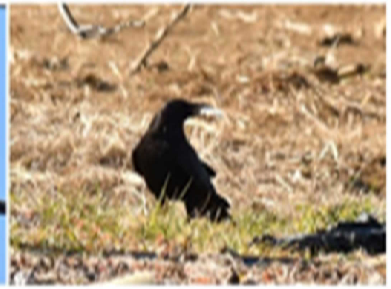
魚をまちぶせ？！していたカワセミ。秋川ではわりと普通に見ることが出来ますが、その美しさは別格！いつまでも見ることができる野鳥でいてほしいと思います。

大型のアオサギが、飛んだり魚を捕食したり、休んでいるところを観察できました。秋川の代表的な鳥。

鉄塔にとまるハヤブサ。直前に見つけた「ハトの羽根」事件…は、ハヤブサのしわざなのか？！

ノスリとカラスのけんかを何回も見ましたね。かなり仲が悪いという感じ！（笑）でも、なわばりを守るためには必要な戦いのようにも見えました。

代表的な冬鳥と言えばシグミですが、当日はそれほど見ませんでした。トイレ休憩の時、近くの電線に止まってくれて、みんなで確認することができました。



今回の鳥の面白いしぐさの中で最も印象的だったのは、カラス。白いご飯のかたまり(？)のようなものをくわえて川に運び、水にひたして食べていました！お茶漬けのような食事だったのでしょうか？！

ミコアイサの群れ。魚などをとるために潜りま～す。残念ながら少し地味なメスの群れでした。
しかし1週間後、パプロとかせちゃんが調査で同じ場所を訪れたら、美しいオスも見ることができました！（こうへい君ももう一度行って見ることができたみたいですね♪）群れの中には黒いカモのような鳥が。クイナの仲間でオオバンです。かせちゃんクイズを覚えていますか？！

最後にきれいなジョウビタキのオスが現れてくれました。そのジョウビタキが出た時、近くの水路にできた薄氷に夢中だった子が多かったことも印象に残りました…（笑）。代表的な冬鳥の1種で、3月頃北国に渡ります。

確認した生き物リスト紹介（パプロ）

今年はとても寒い冬でしたが、1月の活動日は暖かくて過ごしやすい一日でした。青空とほどよい冬風のおかげで、たくさんの野鳥が姿を見せてくれました（38種確定）。天気が悪ければ、こんなにたくさんの種類は見られなかったと思います。恵まれた観察会ができました!!
秋川には、鳥がたくさんいるという事を知るきっかけになっていたら今回の観察会はとてもよかったと思います。コレンジャーのみんなはどのような思い出になったのかな！？

キジ？（草むらの中でそれらしき鳥の姿が飛んでいるのをチラッと見えた）、カルガモ、ミコアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ヒクイナ、オオバン、トビ、オオタカ（超スピードでカラスから逃げていたタカ。現場ではハイタカと伝えましたが写真をよく確認したら若いオオタカでした）、ノスリ、カワセミ、ヨゲラ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス（地なき）、エナガ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラバト（ドバト）、カオグロガビチョウ（なき声）、ガビチョウ。

※その内、ドバト、カオグロガビチョウ、ガビチョウは外来種です。

合計39種（キジを加えたら39種）確認！

2月は冬の山のフィールドサイン調査！

確認した痕跡などのリスト紹介（かせちゃん）

確認できた痕跡の種類は10種
食べあと、足あと、フン、体毛、巣材、巣穴、穴、巣、角とぎあと、羽根
哺乳類は9種
ツキノワグマ、シカ、イノシシ、タヌキ、モグラ、アナグマ、キツネ、リス、ムササビ、ジネズミ
昆虫は2種
セミ、カミキリの脱出した穴
鳥類は多数（同定できた種のみ）
ヒヨドリ、トビ、キジバト
特に目立った痕跡
○シカ…角とぎあと、食べあと、足あと、フン
○タヌキ…ためフン場（4カ所）
○キツネ…フン（7～9個）
目で確認、鳴き声で確認できた野鳥
○目視…ダイサギ、カワウ、トビ、ヤマガラ、シジュウカラ、外来種のガビチョウ、ホオジロ、イカル、メジロ、クロジ、ミソサザイ、ヒヨドリ
○鳴き声…キツツキ類、ミソサザイ、ヒガラ、アオジ、クロジ、ホオジロ
※気温が低かったためか鳥も少なかった。

予報よりは少し暖かく感じたけれど、さむい朝。みんなのテンションも少し低め…でしたが「山に登ろう！」と話した途端、山登りをしたかった仲間がやったー！と笑顔に(^▽^)歩道、林道、舗道、登山道…色々な道を歩く一日だと知りワクワク？！
前回は秋川下流部の自然を調べたので、今回は市の西側に広がる山の自然に出会います♪
山道の入口で、今日の目的「フィールドサイン」について学びました。フィールドサインとは、野生動物の痕跡（食べあと、足あと、フンなど）のことで、フィールドサインを見つけられると野生動物の存在を感じるだけではなく、野生動物の暮らしについても少～し知ることができるのです。
森を歩き始めた時、早速コレンジャーが「テンのフン」を発見！その フンをよくみるとフユイチゴの種子が混じっていました。フユイチゴは、食べ物が少なくなる冬、多くの野生動物に人気の実をつけます。実を探しましたが食べられたあとばかりでした（涙）テンは、自分の存在を仲間などにアピールするために分かりやすい場所にフンをするということも知りましたね。

テンのフン

←見られなかったフユイチゴの実と、当日見た食べられたあとのヘタ

ツキノワグマの毛（シカの毛よりずっと細かったね）

←シカが角をお手入れしたあと、下から上に角を磨いだのでめくれた木の皮が上に残っているよ。シカはオスだけ角があり、1年に1回生えかわる。角を磨く理由は覚えていますか？